



平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 加藤産業株式会社

コード番号 9869 URL <http://www.katosangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加藤 和弥

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 鷹尾 和彦

TEL 0798-33-7650

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	544,900	1.5	7,772	△4.8	8,622	△4.6	5,270	5.4
24年9月期第3四半期	536,992	2.4	8,167	1.6	9,040	3.8	5,002	9.7

(注) 包括利益 25年9月期第3四半期 7,974百万円 (48.1%) 24年9月期第3四半期 5,384百万円 (1.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	140.73	—
24年9月期第3四半期	133.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第3四半期	253,424	85,583	33.3
24年9月期	243,299	79,299	32.2

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 84,482百万円 24年9月期 78,295百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	21.00	—	23.00	44.00
25年9月期	—	22.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 24年9月期期末配当金の内訳 普通配当 22円00銭 記念配当 1円00銭

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	730,000	1.4	11,050	△0.3	12,000	△1.3	6,700	0.0	178.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期3Q	38,153,115 株	24年9月期	38,153,115 株
② 期末自己株式数	25年9月期3Q	700,004 株	24年9月期	699,461 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期3Q	37,453,322 株	24年9月期3Q	37,453,992 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要が引き続き下支えする中で、政府による金融・経済政策の効果もあり円安及び株価上昇等、一部において企業収益環境の改善が見られるようになりました。海外の経済状況においては、米国経済は回復基調であり更なる景気拡大に期待が持てるものの、中国経済は足元で成長が鈍化しており、わが国の景気の先行きは依然として不透明な状況にありました。

食品流通業界におきましては、国内の雇用情勢及び所得環境は一部で明るさが見られるものの依然として厳しさが残り、個人の消費マインドは電気料金の上昇、円安による商品の値上げ、将来の消費税増税による負担増等、今後への不安から生活防衛意識・節約志向が続いています。さらに、内食化傾向が継続する中で企業間競争は一層激化し、円安によるコスト増の懸念も加わり引き続き厳しい経営環境で推移しました。

このような状況下で当社グループは、消費者ニーズに対応した商品の開発・品揃え及び店舗の売場づくり等、提案型営業を積極的に推進し、小売業をはじめ取引先との取り組みを一層強化するとともに、諸経費の抑制及び業務の生産性向上等による経営の合理化に努めました。また、平成24年10月には加藤S Cアジアインベストメント㈱を設立する等、海外での食品卸売事業の展開に向けた基盤の強化を図りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期に比べ1.5%増加し5,449億円となりました。利益につきましては、利益管理の徹底及び物流コストをはじめ諸経費の抑制に努めたものの、営業利益は77億72百万円(前年同四半期比4.8%減)、経常利益は86億22百万円(前年同四半期比4.6%減)となりました。そして四半期純利益は法人税率の引下げ等により前年同四半期に比べ5.4%増加し52億70百万円となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

<常温流通事業>

当社グループの主力事業であります常温流通事業につきましては、多様化する消費者の需要に対応すべく、提案型営業を積極的に推進し、仕入先とも連携して主要得意先との取り組みを強化するとともに、自社P B商品の開発及び拡充を図りましたが、小売業の業態を越えた企業間競争等、事業を取り巻く環境は厳しい状況にありました。

その結果、売上高は4,421億62百万円(前年同四半期比1.2%増)、セグメント利益は67億51百万円(前年同四半期比4.7%減)となりました。

<低温流通事業>

低温流通事業につきましては、消費者の生活防衛意識の高まりから低価格志向にある中で、小売業の業態を越えた企業間競争により厳しい状況で推移し、家庭用チルド・冷凍及び惣菜関連商材を中心に主要得意先との取り組み強化、新規開拓により売上の拡大を図りましたが、価格競争及び売上増等による物流コストの増加も影響し、利益は前年同四半期を下回りました。

その結果、売上高は607億87百万円(前年同四半期比1.4%増)、セグメント利益は1億46百万円(前年同四半期比33.3%減)となりました。

<酒類流通事業>

酒類流通事業につきましては、内食・家飲み層の増加は見られるものの、長期デフレによる低価格化志向は常態化しており、少子高齢化に伴う飲酒人口の減少及び若者層のアルコール離れも依然として続いており、酒類消費規模は縮小傾向のまま推移しました。

このような中で、引き続き自販力及び人材の強化に取り組み、また新製品の投入があったビールや低価格志向による一層の需要があった発泡雑酒の寄与等もあり、売上高は460億59百万円(前年同四半期比3.5%増)、セグメント利益は3億38百万円(前年同四半期比1.6%増)となりました。

<その他>

その他の事業につきましては、物流関連(配送、庫内作業請負等)がその主な事業内容であり、当社グループの売上が堅調に推移したことに伴う取扱量の増加等により、売上高は74億41百万円(前年同四半期比2.0%増)、セグメント利益は5億29百万円(前年同四半期比0.8%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ101億25百万円増加し2,534億24百万円となりました。

流動資産は、主に売上債権並びに現金及び預金が増加したことから、62億41百万円増加し1,732億8百万円となりました。また固定資産は、投資有価証券の取得及び時価評価額の上昇等により、38億84百万円増加し802億15百万円となりました。

流動負債は、主に仕入債務が増加したことから、33億68百万円増加し1,589億28百万円となり、固定負債は、主に投資有価証券の時価評価額の上昇等により繰延税金負債が増加したことから、4億73百万円増加し89億13百万円となりました。

純資産は、62億83百万円増加し855億83百万円となり、その結果、自己資本比率は33.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月9日に公表しました業績予想に修正はありません。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産(建物を除く)について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。この減価償却方法の変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,958	49,862
受取手形及び売掛金	98,463	101,648
有価証券	3,303	3,909
商品及び製品	12,672	12,922
仕掛品	4	12
原材料及び貯蔵品	808	675
繰延税金資産	773	392
その他	4,532	4,316
貸倒引当金	△548	△531
流動資産合計	166,967	173,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,887	14,428
機械装置及び運搬具(純額)	1,664	1,648
工具、器具及び備品(純額)	296	339
土地	24,704	24,546
リース資産(純額)	958	917
建設仮勘定	98	10
有形固定資産合計	42,609	41,891
無形固定資産		
ソフトウェア	3,767	3,755
電話加入権	35	35
その他	9	9
無形固定資産合計	3,812	3,799
投資その他の資産		
投資有価証券	22,191	27,051
長期貸付金	270	275
差入保証金	2,162	2,213
投資不動産(純額)	1,130	1,235
繰延税金資産	730	307
その他	3,504	3,528
貸倒引当金	△81	△89
投資その他の資産合計	29,909	34,523
固定資産合計	76,331	80,215
資産合計	243,299	253,424

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	143,390	148,541
短期借入金	174	135
リース債務	361	384
未払金	6,940	7,196
未払費用	197	129
未払法人税等	2,667	518
未払消費税等	311	349
賞与引当金	1,112	679
役員賞与引当金	77	48
資産除去債務	1	—
その他	324	944
流動負債合計	155,559	158,928
固定負債		
長期借入金	321	222
リース債務	620	567
繰延税金負債	24	1,019
退職給付引当金	5,667	5,474
役員退職慰労引当金	494	426
資産除去債務	126	120
その他	1,184	1,083
固定負債合計	8,439	8,913
負債合計	163,999	167,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,934	5,934
資本剰余金	8,806	8,806
利益剰余金	62,371	65,956
自己株式	△861	△862
株主資本合計	76,249	79,834
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,044	4,644
繰延ヘッジ損益	0	3
その他の包括利益累計額合計	2,045	4,647
少数株主持分	1,004	1,101
純資産合計	79,299	85,583
負債純資産合計	243,299	253,424

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
売上高	536,992	544,900
売上原価	499,253	507,386
売上総利益	37,738	37,513
販売費及び一般管理費	29,571	29,741
営業利益	8,167	7,772
営業外収益		
受取利息	73	75
受取配当金	416	449
不動産賃貸料	275	230
持分法による投資利益	143	15
その他	231	292
営業外収益合計	1,140	1,063
営業外費用		
支払利息	38	8
不動産賃貸費用	203	192
その他	25	13
営業外費用合計	267	213
経常利益	9,040	8,622
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	4	19
受取補償金	—	78
災害による損失戻入益	22	—
補助金収入	14	—
特別利益合計	42	100
特別損失		
固定資産除売却損	129	2
投資有価証券評価損	103	—
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券償還損	1	—
ゴルフ会員権評価損	0	—
リース解約損	—	6
特別損失合計	235	8
税金等調整前四半期純利益	8,848	8,713
法人税、住民税及び事業税	3,263	2,895
法人税等調整額	484	464
法人税等合計	3,747	3,360
少数株主損益調整前四半期純利益	5,100	5,353
少数株主利益	97	82
四半期純利益	5,002	5,270

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,100	5,353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	272	2,594
繰延ヘッジ損益	0	2
持分法適用会社に対する持分相当額	11	24
その他の包括利益合計	284	2,621
四半期包括利益	5,384	7,974
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,268	7,873
少数株主に係る四半期包括利益	115	100

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	常温流通 事業	低温流通 事業	酒類流通 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	429,502	59,747	44,144	533,394	3,598	536,992	—	536,992
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,326	189	343	7,859	3,698	11,558	△11,558	—
計	436,829	59,937	44,487	541,254	7,296	548,551	△11,558	536,992
セグメント利益	7,085	219	333	7,638	533	8,171	△4	8,167

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益の調整額△4百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	常温流通 事業	低温流通 事業	酒類流通 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	434,784	60,636	45,768	541,189	3,711	544,900	—	544,900
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,378	151	290	7,820	3,730	11,550	△11,550	—
計	442,162	60,787	46,059	549,009	7,441	556,451	△11,550	544,900
セグメント利益	6,751	146	338	7,236	529	7,765	6	7,772

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益の調整額6百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。